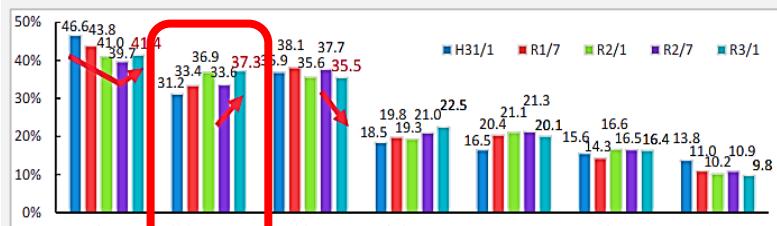


# 労働人口減への対応！AI等による サケ類小骨自動除去装置開発

- R4～R6年度 - 成長型中小企業等研究開発支援事業（経済産業省）  
愛媛県産業技術研究所 技術開発部 研究員 清家 翼

## 研究開発の背景

骨なし魚の需要は高く、特にサケ類は消費量が多い



食の志向の変化表（資料：財務省「貿易統計」）

小骨の除去作業は、人による手作業

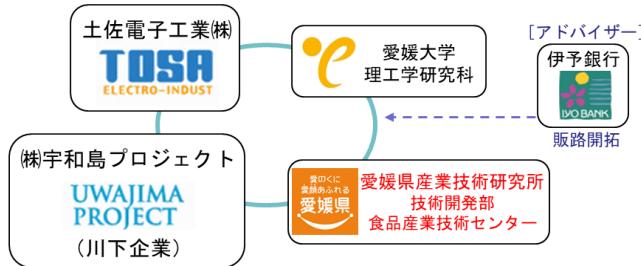
→丁寧な作業で品質保証！

しかし・・・

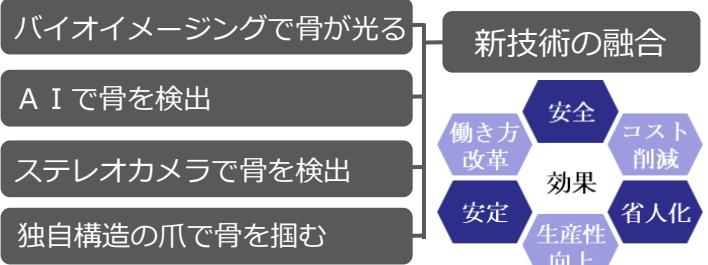
水産加工業界は慢性的な人手不足！！



## 開発連携体制

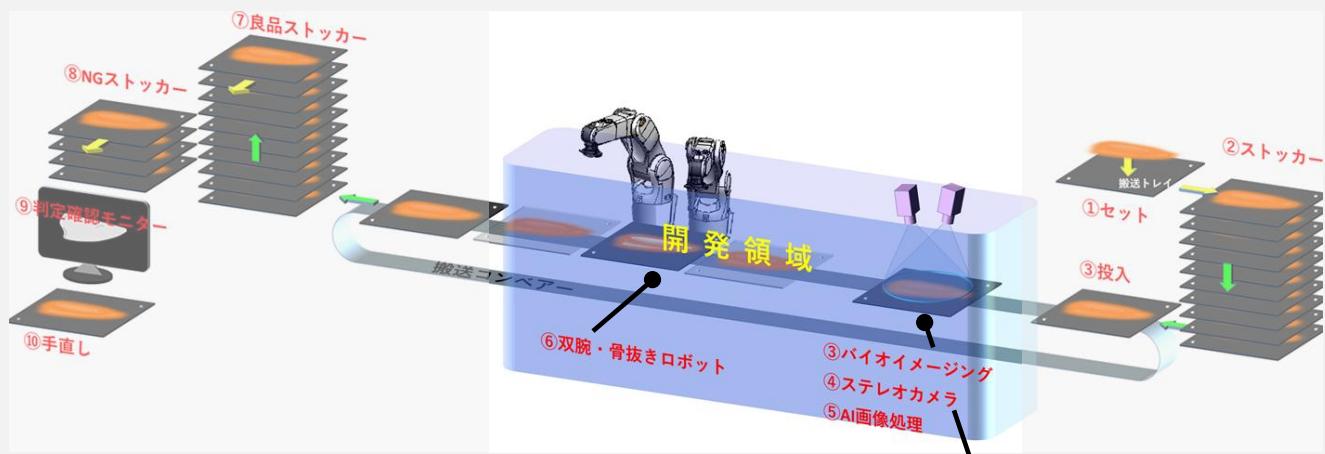


## 特徴



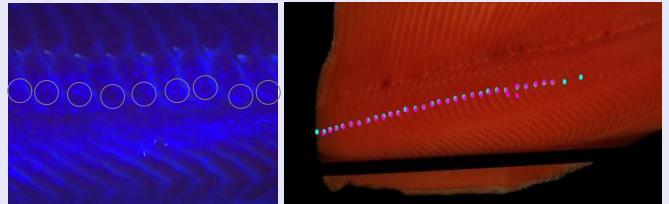
## 研究概要

バイオイメージングでサーモンを撮影 → AIで小骨の位置を検出 → ステレオカメラで小骨の高さを把握 → 双腕ロボットアームで骨抜き



日テレNEWSの  
2次元バーコード

複数の画像処理技術を転用することで、  
骨の位置を正確に検出



2月に取組みがTVで放送されました。

本研究は、令和4～6年度成長型中小企業等研究開発支援事業（経済産業省）により実施しました。